

事務事業チェックシート

事務事業No **766** 事業名 **基礎学力向上事業**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		教育振興費	
	大事業		教育振興事業	
	事項		基礎学力向上事業	

[長期総合計画]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	3	小・中学校教育の充実
基本方針	2	子どもたちの確かな学力の定着と向上

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	IV	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
政策	6	教育の充実
施策	A	学校教育の充実

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	地元教育の推進			

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～ 永年		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	学校教育課	神崎 信彦 (435-1139)	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
<ul style="list-style-type: none"> 「紀州っ子学びノート」により小学生の読む力・書く力・伝える力を伸ばし、国語力の向上を図る。 読書活動推進事業として、「うちどく推進事業」を実施。20校園程度をパイロット校に指定し、読書活動を推進する。 基礎学力向上の研究を推進し、成果の検証を通して、学力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「紀州っ子学びノート」を小学生全員に配付し、授業や補充学習・家庭学習で活用し、読む力・書く力・伝える力を伸ばす。 読書活動推進事業：うちどく推進校として、20校園程度を推進校に指定し、うちどく図書を配付し、読書環境を充実させ、読書活動を推進する。 放課後学習等フォローアップ事業：各校が取り組んでいる放課後等の補充学習をさらに充実させるため、学習支援員を活用し、学力向上に向けた取組みを推進する。 				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> 「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用した。 「うちどく推進校」として20校園を指定し、読書活動について研究を進めた。 子どもの基礎学力向上への取組み事業として9校を指定し、研究を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用した。 「うちどく推進校」として17校園を指定し、読書活動について研究を進めた。 子どもの基礎学力向上への取組み事業として9校を指定し、研究を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用した。 「うちどく推進校」を23校園指定し、読書活動について研究を進めた。 「放課後フォローアップ事業」で、さらなる学力の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用する。 「うちどく推進校」を指定し、読書活動について研究を進める。 「放課後フォローアップ事業」で、さらなる学力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用する。 「うちどく推進校」を指定し、読書活動について研究を進める。 「放課後フォローアップ事業」で、さらなる学力の向上を図る。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	12,209	14,227	7,323	5,563	13,086	12,282	6,123		6,123	
伸び率 (%)	-	-	-40.0%		78.7%		-53.2%		0.0%	
人件費	常勤職員	2,177	2,177	2,177	6,328	6,328	7,416	7,059	7,059	
	非常勤職員									
小計	2,177	2,177	2,177	6,328	6,328	7,416	7,059	7,059		
国庫支出金	1,660	1,628			1,540	1,070	1,540		1,540	
県支出金							503		503	
市債										
その他	8	7								
一般財源 (税等)	10,541	12,592	7,323	5,563	11,546	11,212	4,080		4,080	
所要人数	常勤職員	0.29	0.29	0.29	0.85	0.85	0.97	0.97	0.97	
	非常勤職員									
主な予算内訳	報償金4,860千円、図書購入費1,000千円 ほか									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	放課後学習等フォローアップ事業実施校	年度目標値						30	30	30
		実績値						11	14	
	単位	校	全体目標値	30	全体目標達成度	36.7%	年度別達成度	36.7%	46.7%	
			全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
成果指標	放課後学習等フォローアップ事業 学習支援員活用時間	年度目標値						2,100	2,100	2,100
		実績値						1,456		
	単位	時間	全体目標値	2,100	全体目標達成度	69.3%	年度別達成度	69.3%		
			全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>子どもの基礎学力向上のため、本事業では3つの方向から課題解決を図る。</p> <p>「紀州っ子学びノート」では、児童の考える力・書く力をつけるため、各学年の学習内容と関連させて、学年それぞれのノートを作成し、活用している。</p> <p>「うちどく推進校」を指定して、児童生徒の読書活動を促進し、言葉を育て心を磨く。</p> <p>さらに「放課後学習等フォローアップ事業」においては、放課後等の学習タイムを充実させることで、演習量を増やしたり、つまずきを少なくしていく。</p> <p>いずれの事業も子どもの基礎学力向上のため、図書の充実や学習支援員の増員が必要である。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>「紀州っ子学びノート」は、必要に応じて改定を行い、内容を充実させていく。</p> <p>読書活動推進事業では、貸出し図書の促進や「うちどくノート」の活用を進める。</p>